

岩手教区報

第382号
 立教187年10月1日
 天理教岩手教務支庁
 盛岡市馬場町3-40
 TEL 019-622-7962
 FAX 019-623-9597



おぢばでの伏せ込み

青年会委員長 村松義朗



今年の子どもおぢばがえり期間中、岩手教区団の少年ひのきしん隊にカウンセラーをつとめさせて頂きました。私自身、中学生時代に入隊経験はありましたが、カウンセラーは初めてでしたので、果たしてしっかりと隊員の世話取りが出来るだろうか、と一抹の不安もありました。終わってみれば、先輩カウンセラーや教区団の先生方のお陰で無事につとめさせて頂き、隊員がひのきしん中に放つ、帰参した方に喜んでもらいたいというキラキラした姿を見て、逆に私が勇ませてもらい、更には忘れかけていた大切なものを思い出すことができました。

少ひ隊の合言葉は、「人のため つくすよろこび ひろげよう」です。よくよく考えると、中学時代に経験した少ひ隊のこの合言葉と精神が、お道を好きになっただきっかけなのかなと今回気づかせてもらいました。私自身の少ひ隊での伏せ込みは、信仰の未熟さゆえ、その大切さを感じていませんでしたが、今思い返してみると、今の信仰の根底を作ってくれたように感じます。また、天理高校時代や修養科生としておぢばでの伏せ込みを経験させて頂きましたが、青年会員として下っ端の頃に初入隊した、「おやさ」とふしん青年会

ひのきしん隊」の経験が特に心に残っています。慣れない集団生活で辛い事もありましたが、多くの方々の温かい心を頂いて、リタイアせずには隊期を終える事が出来ました。青年会の諸先輩方には分会の枠を超えて、隊期中のひのきしん、にをいがけ、百母屋での夜の宴など、日常の様々な場面で、沢山の誠実を頂き、そしてその後の指針となる「背中」を見せて頂きました。それは今でも私の宝物です。

おぢばでの伏せ込みは、神の田地に種を蒔くこと、すなわちこの世で最良の田地に蒔くことを意味し、ここで真実の種を蒔くことで、何よりも結構な御守護を頂戴できるとお聞かせ頂きます。日々の仕事と御用で忙殺されそうになる時もありますが、後々の楽しみとして、これからおぢばのみならず、自教会や教区の御用など、喜んで伏せ込みたいと思います。

「おやさ」とふしん青年会ひのきしん隊結成70周年記念第98回天理教青年会総会」が10月27日(日)午前10時から本部中庭で開催されます。それぞれご多忙とは存じますが、是非ともこの機会におぢばにお帰り頂き、総会当日は、多くの青年会員にお会い出来る事を楽しみにしております。



「お陰様」

私たちは日々、それぞれの心に見合った親神様のご守護を、たつぷりと頂戴して結構に生かされております。しかし、誰しも順風満帆の日ばかりではなく、時には雨の日や嵐の日、いわゆる「ふし」も訪れてきます。心折れそうなつらいふしでも、それを前向きに捉え、そこから芽を出す歩み方を教えられている私たちは、知らずに悲哀の淵で嘆く人たちの中で、大いに恵まれた立場に居ります。私も70年の人生で、大小様々なふしを見せて頂きましたが、その中、生命に関わる大ふしは、入信前に三度、入信後に二度ありました。ただしこれはあくまでも自分でお守り頂いてきたふしは限りなくあつたに違いありません。

一度目は16歳の夏、高校レスリング部

での練習中、首の骨を骨折し三週間の絶対安静となりました。あと一、骨がずれていたら即死だったと告げられました。運が良かったで済ませました。

二度目は26歳の冬、八ヶ岳単独行での事でした。11月下旬でも三千坪の山の上は厳冬期で、頂上稜線を山小屋を目指して歩いていたら、猛烈な吹雪に襲われました。視界はゼロ、気温マイナス10度の寒さで睫毛も鼻毛も凍る中、夕暮れとなり進退窮まりました。「ここで死ぬことになるのか、もう少し生きてヒマラヤにも行って見たかったな」と思いながら、天理王命をはじめ、知っている全ての神名を唱えていました。30分ほどして吹雪が一瞬弱まった瞬間に、遙か前方に山小屋の灯りが見えました。凍った身体で新雪を踏み分けて歩き、どうにか生命を繋いで頂けたのです。この時も信仰がありました。運が良かったで済ませていました。

三度目は翌年の27歳の時です。エベレストトレッキングを終えてインド一周の旅の途上、最南端のコバラムビーチで二週間の滞在中、遊泳で左脛にケガをし、放っておいたら徐々に腐り出し、熱も出て周囲から破傷風でないかと言われ蒼くなりしました。言葉の通じない異国で病になった時ほど怖いことはありません。「死

ぬかも、よくても足の切断かも」とと懊悩している時、偶然にも家が薬屋だという若い青年に出会い、彼の勧めで抗生物質を飲み、徐々に回復していきました。この時も運が良かったで済ませていました。前回記したように、帰国後入った修養科での別席で感激して私は入信するのですが、感激したのは、これまでの危なき道を無事にお守り頂けたのは、親と先祖の尊い伏せ込みの故だったのだと、痛いほど身に染みみたらからでもありました。

どんな所通って危なき所怖わき所でもなかくの理無くば通られやせん。
 (明治26年7月12日おさしづ)

行事予定 【10月分】

- 1日 役員会議(10時)
- 6日 女子青年「めんこいマルシェ」(10時)
- 12日 学生担当委員会例会  (19時30分)
- 青年会例会(19時)
- 14日 第51回少年会岩手教区団 おつとめ総会(10時)
- 16日 剪定ひのきしん(17日)
- 25日 青年会本部総会バス輸送(28日)
- 30日 婦人会例会(10時)



災 救 隊

「山形県7月豪雨災害」出動報告

災救援隊岩手教区隊は、去る8月30日から9月1日にかけて、山形県7月豪雨の被害にあった山形県最上郡戸沢村に隊員ら9人が出動した。当初、北海道・東北ブロック訓練が予定されていた日程であったが、戸沢村ボランティアセンターから山形教区に出動の要請があったことから、本部隊の出動へと急遽変更になった。

30日早朝岩手を出発した当教区隊は一路南下し、戸沢村社会福祉協議会に無事到着。他教区隊も続々と駆けつけ、午前10時から同「とざわふれあいセンター」での結隊式となった。式では、山形県自主防災アドバイザーの千川原代表の挨拶に続き、富松基成災救援隊本部長、森井昭司山形教区長が挨拶に立った。

午後から作業現場の蔵岡地区の民家へ移動。1階の倉庫内の災害ゴミ、汚泥の搬出と運搬が主な作業となった。中でも悪臭を伴う汚泥を土嚢袋に詰める作業は、残暑も相まって非常に困難ではあったが、一手一つにたすけあいの精神を

もって、隊員らは救援ひのきしんに黙々と取り組んだ。

1日午前、宿泊場所となった舟形町若あゆ温泉「あゆっこ村」においての解散式では、富松本部長と佐々幸雄山形教区隊長の謝辞があった。今回の現場となった戸沢村には、教会や布教所が無く、一宗教団体の活動に当初は警戒心があったようだが、山形教区の出動や千川原氏の同行によって一定の理解が得られ、また戸沢村社会福祉協議会のフェイスブックに今回の作業風景が紹介されるなど、災救援隊の出動が被災地に受け入れられた意義深い活動ともなった。

なお今回出動したのは、本部隊をはじめ、北海道、福島、山形、宮城、秋田、青森、岩手の各教区隊。3日間延べ255人の隊員が参加した。



第3回「ようぼく一斉活動日」

― 教区会場・自主プログラム一覧 ―

ようぼく一斉活動日は、同じ地域に住むようぼくが集い思召に心を揃え、互いに勇ませ合ってともに年祭活動の歩みを進める日です。

- 九戸 11月4日(月) 13時 南平分教会
「講話」 加藤昌弘先生
- 二戸 11月4日(日) 10時 浄法寺分教会
「おてふり勉強会」②
- 盛岡 11月3日(月) 9時45分 教務支庁
「ビデオ視聴」
”ふしから芽が出る”
- 三陸 10月31日(木) 10時 宮古分教会
「講話」 中田祥浩先生
- 花巻 11月17日(日) 10時 花巻分教会
「パネルディスカッション」
”教祖のひながた”
- 奥州 11月9日(土) 9時半 岩梁原分教会
「ビデオ視聴」 扉ひらいて
- 県南 11月4日(月) 13時 磐井分教会
「座りづとめと
おさづけ取り次ぎ」

※参加御供 300円



学生担当委員会

「学生層育成者講習会」報告

教区学生担当委員会では、去る9月1日(日)、教務支庁を会場に「学生層育成者講習会」を開催し、16人が参加した。

台風10号の影響により、講師の来県が叶わないことから、急遽リモートでの講習会となった。清水慶政学生担当委員長(兵神大教会長)よりリモートでお話を頂き、清水委員長は、「様々な悩みや経験を通して成長していく学生層に、育成者自らの信仰の喜びや通り方を伝えて共に歩んで頂きたい」と学生層育成の重要性を話された。

「まなびば事前研修会」報告

去る9月14日から15日にかけて教務支庁を会場に「まなびば事前研修会」を実施し、5人が参加した。春野三千彦学生担当委員長と平野大心学生担当委員会部員をお招きし、今年12月に開催予定の「まなびば」に準ずるプログラムとタイムスケジュールで事前研修を行った。



少年会

「第51回少年会岩手教区団 おとつとめ総会」【10月14日】

少年会岩手教区団は、左記の通り、「第51回少年会岩手教区団おとつとめ総会」を開催します。各支部から大勢の少年会員、育成会員のご参集をお願いします。

日時	10月14日(月・祝) 10時
会場	教務支庁
内容	十二下りおとつとめ、式典、アトラクション
役割	祭儀式 わかぎ(中学生) 座りづとめ

教区役員・少年会委員
よろづよ八首 わかぎ(中学生)
一、二、三下り目
九戸支部・二戸支部

四、五、六下り目
盛岡支部・花巻支部
七、八、九下り目
奥州支部
十、十一、十二下り目

三陸支部・県南支部
※準備の都合上、10月7日までに参加人数を支部育成委員長にお知らせ下さい。



青年会

「青年会総会マイクロバス輸送」

第98回天理教青年会総会に向けて、岩手教区青年会として、昨年と同様に岩手・天理間のマイクロバス輸送を左記のように実施します。

日程	25日(金) 18時岩手発(奥州市内)
26日(土) 7時天理着	
27日(日) 14時天理発	
28日(月) 早朝岩手着(奥州市内)	
定員	10人(青年会員優先)
参加費	片道1万円 往復2万円
申込み	村松委員長(080-5553-3160)
※宿泊費食事等は個人で(用意下さい)。	

教務支庁剪定ひのきしん

日時 10月16日(水) 10時～17日
内容 庭木の剪定、中庭の除草
※各支部の参加人数を13日迄に教務支庁にご連絡ください。

